

創業から今年で136年目を迎え、名古屋の人々の様々な表情を撮影し続けてきた株式会社オクムラ写真館。時代の流れに合わせた事業展開を積極的に試みる6代目で代表取締役の奥村慎之助さんにお話を伺いました。

## 株式会社オクムラ写真館

代表取締役・OKUMURA SHINOSUKE

奥村 慎之助さん



### Company Data | 会社概要

#### 株式会社オクムラ写真館

[ 創 業 ] 1887年  
[ 所 在 地 ] 名古屋市中区錦3-22-29  
[ T E L ] 052-951-1001  
[ U R L ] <http://www.okumura-photo.jp>  
[ 事業内容 ] スタジオ撮影、スクールフォト、ウエディングフォト、レンタル衣装、広告撮影・制作、美容など



# 老舗写真館の名にとらわれず 時代とともに変わり続ける

### 人生の節目や記念日に 選ばれる 写真館を目指して

当社は、明治20年に私の曾祖父が、現在の本店スタジオがある中区錦に写真館を開業したのが始まりです。当時は写真自体が物珍しく、日本中でブームだったようで、周辺には何十軒もの写真館がひしめき合っていたと聞いています。

太平洋戦争で名古屋市内が焼け野原になると、曾祖父は親戚の住む三河から木材を運んで、どこよりも早く写真館を再建したそうです。戦後、一番のお客様は進駐軍の米兵で、パスポート用や来日記念としての撮影が多かったようです。その当時から残っている写真館といふこともあって、今でも大使館からの紹介で外国人のお客様がビザ申請用に写真を撮りにいらっしやいます。

現在の当社の事業は、スタジオ撮影、学校向けのスクールフォト、結婚記念写真、レンタル衣装、広告撮影・制作、美容

の大きく6つの部門に分かれています。すべてにおいて写真に関することを幅広く手掛けているため、各部門の協働によるシナジー効果が得られるほか、コロナ禍においてある部門が不調だったときも、他の部門でカバーするなどのリスク回避できるのが強みです。その一方で、子供専門の写真館など、一つの分野に特化した同業他社に比べると提供するサービスの売りがお客様に伝わりづらいといった課題もあります。そのため、最近では部門ごとにインスタグラムのアカウントを立ち上げ、来館されるお客様に分かりやすく情報を発信していく予定です。「老舗写真館としての誇り」にこだわりつつも、時流に合わせて変わり続ける写真館でありたいと思っています。



戦後間もない頃の当社外観



当社のガーデンスタジオ(名古屋市天白区)には、四季折々の花木に溢れた2,000坪を超えるプライベートガーデンと屋内スタジオがあります。写真撮影のほか、英国式寄植えレッスン、ガーデンヨガ、筆文字教室を開催しています。

社名の由来 /



創業者の苗字から「オクムラ写真館」となりました。ロゴマークは私の父が画家の島谷晃さんに依頼して制作したものです。幸福の象徴である鳩に、喜びの面(上向き)と悲しみの面(下向き)を組み合わせ、人生が表現されています。

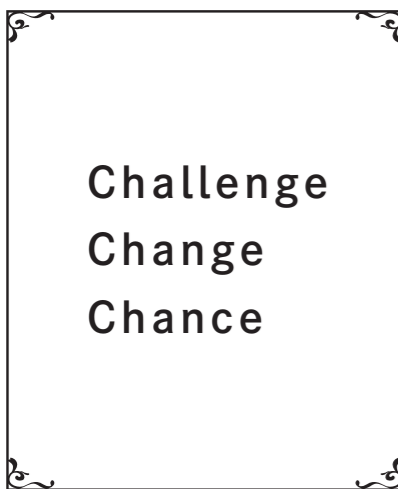
愛用のアイテム紹介 /

鞆・携帯ケース・名刺入れ・財布



妻がプロデュースしている完全受注生産ブランド「kaori solamente」で作った革製品です。革の種類・色を選んで自分好みに作れるので、毎年新しいものに変えて素材の質感や色の違いを楽しんでいます。

仕事で大切にしていることは /



いつも新しい挑戦(Challenge)をし、変化(Change)を恐れず進み続けることで、必ず好機(Chance)が生まれるという信念を持って仕事に臨んでいます。現在の当社があるのも、3C(Challenge、Change、Chance)を実践してきたからこそだと考えています。



プラチナプリント写真集

ニューヨークでフォトグラファーをしていた時に学んだ写真現像技法を用いた作品です。自分にとっての原点であり、見返す度に初心に帰ることができます。



リル スタジオ Lill studio

当社が松坂屋名古屋店に出店している、アンティーク家具やドライフラワーを基調としたナチュラルな雰囲気が魅力のスタジオです。スタジオの雰囲気に合わせたオリジナル衣装を多数用意しています。



(一社) Miss SAKE

日本文化(日本酒・着物など)を海外に発信することを目的とした一般社団法人です。私はメディアディレクターとして設立から活動に携わっています。



英国式寄植えレッスン

私の妻がバラクラ イングリッシュガーデンのマスター講師資格を取得し、英国式寄植えレッスンを毎月開催して、当社を知っていただく良い機会となっています。

今後はアフターコロナに向けて種をまいて温めてきた事業の芽が出てくる時期だと考えています。当社においては、既存事業のブラッシュアップに加え、英国式寄植えレッスンなどのスクール事業を軸に、新規事業の展開を強化していく方針です。最近ではペットと一緒に家族写真を撮る撮りに来られるお客様が増えています。そのようなニーズを踏まえ、犬と一緒に撮影できるドックフレンドリースタジオの企画も検討しています。また、子会社のPRプロモーション事業などを行なうPHOTO+STYLEとも連携して、様々なメディアを活用しながら、SNSマーケティングやメタバースにも取り組んでいきたいですね。

顧客のニーズを  
大きな視点で捉え、  
新規事業へとつなげる

時代のニーズに合わせ、  
お客様の日常に  
なくてはならない存在に



父の思いが詰まった  
ガーデンスタジオを  
新たな事業の柱とする

デジタルカメラやスマートフォンが普及で、誰でも気軽にそこそこ良い写真が撮れるようになり、撮影技術を買りにしてきた写真館にとっては新たな付加価値が必要な時代になりました。また、少子化で学校の卒業アルバムやスナップ写真の販売も減少傾向にあります。当社は名古屋圏で商いをしてるので緩やかな減少に留まっていますが、地方都市の写真館にとっては死活問題です。

このような状況においては、単に写真を撮る技術を売る商売から、顧客のライフスタイルに合わせたサービス業へと意識を変革することが大事だと考えています。お客様に写真館へ足を運んでもらい、そこで撮影することに新たな価値を感じてもらえるかが大きな鍵です。

現在、当社では父が残してくれたガーデンスタジオでの撮影に注力しています。約2,000坪の敷地に植えられた四季折々の花や木々を楽しみながら撮影できる庭を併設した滞在型のスタジオは、国内でも数えるほどしかないものだと自負しています。なかでも、5月に最盛期を迎えるバラ園での撮影は、毎年、全国各地からお客様がいらつしやるほどの人気で、1年前には予約で埋まってしまいました。父がバラ園を造り始めた当時は、写真館が庭園を運営することに疑問を感じていました。しかし、今となつては

四季折々の花や緑を体感していただきながら、写真を撮影してもらおうという父の先見の明に感心しています。

最近では、当社のガーデンスタジオがきっかけで花の種類や庭づくりに興味を持ってくださるお客様も増えているので、昨年度から\*園芸科高原バラクライングリッシュガーデンと提携して、ガーデンのブラッシュアップを図っています。

私は大学卒業後、東京とニューヨークでスタジオ勤務やフォトグラファーとして働いた後、当社に入社し、2018年に代表に就任しました。家業を承継していくにあたり、父から具体的なアドバイスはありませんでしたが、当社が長年にわたり築いてきた物的資産・人的資源をいかに有効に継続、変化させていくのが鍵と考えています。ただ写真館を継続していくのではなく、時流やニーズに合わせて変化を加えることで、いかにお客様に満足していただくかを心がけています。

コロナ禍を経て、世の中はアナログからデジタルへより一層移行していくことから、社名やジャンルにとらわれることなく、すべての分野への扉を開くことが大切だと思います。また、社員の従業員にも多様な働き方を認めており、カメラマンとしての独立支援だけでなく、育児休業後の柔軟な働き方の提案など、ストレスなく働ける環境が結果的にお客様へのサービスとホスピタリティの向上につながると考えています。

\*英国王立園芸協会パートナーガーデンにアジアで初の認定を受けたガーデン施設